FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL http://www.fujieda-rotary.org/ E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：石垣 善康　副会長：青島 彰　幹事：酒向 謙次　副幹事：大塚 博巳

第1896回

＜ソング＞四つのテスト
＜ソングリーダー＞小西啓一君

【2010-2011年度 RIテーマ】
地域を育み
大陸をつなぐ
BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS
レイ・クリンギンスミス

【ボケの花】
写真提供 ： 事務局

■ 会 長 報 告　石垣 善康君

先週、藤枝市社会福祉協議会の評議員会に出席をしてまいりました。評議員会の内容については、改めて、会報にでも報告いたしたいと思います。

本日は、社会福祉協議会に付いてご報告いたします。社会福祉法人で民間の福祉団体です。

運営は、市民の皆様より一世帯４００円、その他団体会費、寄付そして、藤枝市より、事務職員給与の助成、活動費の助成で運営されています。

藤枝ロータリークラブは、負担していません。以前、切手や使用済みテレカを寄付した年が数年あり、それ以来評議員とのことでした。

活動のテーマは、地域の住民が主体となって明るくすみよい社会をつくることを目的としています。活動実態は、児童から高齢者まで幅広い年代にたいしての福祉事業です。

児童＝放課後の児童クラブへの指導員の派遣

障害者＝広報ふじえだや市議会だよりの点字版の作成、配布、車いすの貸し出しなどです。

高齢者＝ホームヘルパーサービスやデイサービス、入浴サービス。認知症相談などです。

毎日、電話相談を開設しており、まず相談してもらう。そしてその後のケアー施設や、市役所の窓口を紹介する活動です。

又、一人暮らしの高齢者や、高齢ご夫妻に対しての、対策活動も計画中です。

その他、赤い羽根共同募金活動も大きな活動の一つとなっています。

また、今回の大震災等で活躍している、災害時ボランティアコーディネーターの育成講座も行っています。

今後、藤枝ロータリークラブに対しての希望をお聞きしてきました。それは、福祉、奉仕活動を共同で行いたいとの事でした。

今後の皆様に、お願いいたします。

■ 幹 事 報 告　酒向 謙次君

- ガバナー事務所より、「ニュージーランド地震災害義援金の報告」と「東日本大震災被災地区に対する義援金のお礼とお願い」が届いております。
- ガバナー事務所より、2/14 にご案内しました「第３回日台ロータリー親善会議」開催中止の連絡が届いております。
- ガバナー事務所より、地区協議会開催時間変更のご連絡が届いております。
- ガバナー事務所より、ロータリー第 2620 地区 2010-2011 年地区大会記録誌並びに記念 DVD が届いております。（DVD は事務局にて保管しております）
- ロータリーの友から、震災の影響による発送の遅れに関するお願いが届いております。
- 被災地第 2520 地区（岩手・宮城）の楢山（ならやま）ガバナーより、シェルター設置の活動が掲載された新聞のご案内が届いております。
- 焼津 RC より、「創立 50 周年記念例会開催日延期」のお知らせが届いております。6/16（木）に延期が決定されました。
- （財）ロータリー米山記念奨学会より、「ハイライト米山 号外」が届いております。
- （財）米山梅吉記念館より、館報 17 号が届いております。

• 藤枝市国際友好協会より、「FIFS NEWS 」が届いております。

出 席 報 告　竹田 勲君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
28／41　68.29%	29／42　70.73%

(１)欠席者（事前連絡とメークアップをどうぞ）

○池谷君　○池ノ谷君　○後藤君　○酒井君

○鈴木邦君　○玉木君　○仲田廣君　○江﨑晴君

板倉君　鈴木舜君　仲田晃君　水野君　山田君

スマイルＢＯＸ　竹田 勲君

• 静岡県茶商工業協同組合副理事長に３／１８の役員会で決定し、勤めさせていただくことになりました。　松葉 隆夫君

スマイル累計額　５４１,５００円

会 員 卓 話

鈴木 廣利君

「鉄道こぼれ話」から新幹線の巻

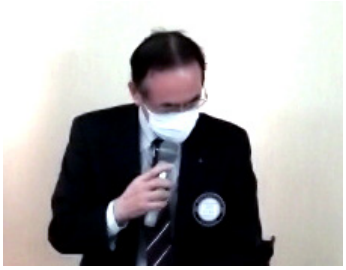
① Ｓ.１７年に弾丸列車構想が策定されたが敗戦により立消えた。その案を基本にして東海道新幹線路線は作られた。開業時の駅数は東京、新横浜、小田原、熱海、静岡、浜松、豊橋、名古屋、岐阜羽島、米原、京都、新大阪の１２駅、後に４年後に三島、８年後には新富士、掛川、三河安城が加わり、平成になって品川駅が出来て現在では１７駅になった。

② 「ひかり」「こだま」の名称はわずか１７日間の募集で５６万通の応募があり、１位が「ひかり」「こだま」は１０位であったが、東海道線最後の特急だった事で採用になった。他に応募の多かったものは２位に、はやぶさ３位いなづま４位はやて、その他富士、流星、あかつき、さくら等があった。

③ レールの巾は１,４３５mm（在来線は１,０６７mm）
電圧２５,０００Ｖ直流（在来線は６００Ｖ）

④ その他丹那トンネル、日本坂トンネルの話、夜行新幹線、駅間距離、新幹線のレール上を阪急電鉄が走った話等々。

鈴木 勝弘君



去る３月１１日に発生しました大地震の影響で東京電力の福島第一、第二原子力発電所が甚大な被害を受け、その状況が毎日報道されています。被害の全容は明らかではありませんが、現時点で把握できる内容に基づき、弊社の浜岡原子力発電所で対策を講じておりますのでその内容をご説明します。

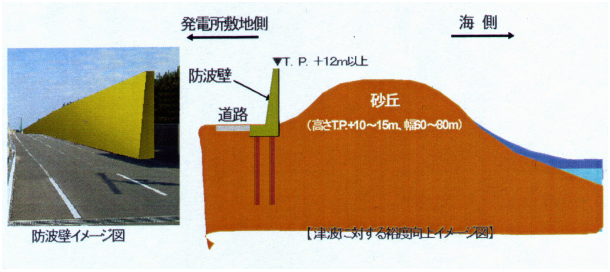
福島原子力発電所においては、地震を感知し原子力発電所の安全対策の基本である原子炉を緊急停止するという機能は正常に動作しました。しかし、想定を超える津波により原子炉を冷やすための除熱系設備の電源が喪失し、さらには、放射性物質を閉じ込める最後の壁である原子炉建屋が水素爆発で損傷しました。特に、除熱系設備は幾つかのバックアップがありますが、津波による外部電源の喪失、非常用ディーゼル発電機の故障、さらには原子炉隔離冷却系ポンプの制御用のバッテリーが外部電源による充電が行なわれず脱落しました。また、屋外に設置されている海水ポンプも津波の被害を受けました。

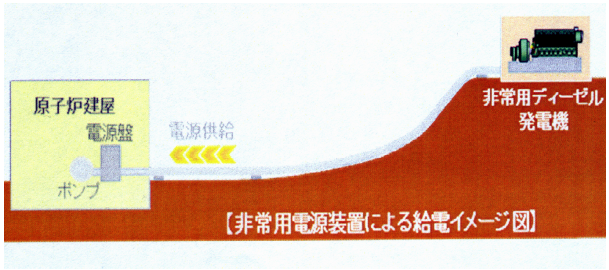
このように今回の事象の大きな原因は津波です。浜岡においては津波の大きさを８mと想定しています。これは、１８５４年の安政東海地震で敷地に最も影響を与えた６mの津波に不確かさを考慮したものです。この８mの津波に対する安全性は、海岸線に位置する「砂丘」で評価しています。この砂丘は、消波ブロックや植栽などで、高さも幅もある堤防の役目をしており、８mの津波を防護

できると考えています。

しかしながら、今回の事象を踏まえ、「津波に対する裕度向上」や「緊急事態に備えた対策」を策定しました。具体的には、①津波の構内への浸水防止対策として発電所海側に１２m以上の防波壁を東西約１．５ｋｍ設置　②津波の侵入を想定した対策として海水系ポンプ電動機の防水対策、予備品の確保及び防水構造の扉の信頼性強化　③緊急事態に備えた対策として、高台へ非常用ディーゼル発電機の設置、予備電池の確保及び緊急時対策訓練を実施・強化していきます。

以上のように、先ずは、現在判明している知見に基づく放射性物質放出回避と冷却機能回復のための対策を実施しています。今後とも、福島第一原子力発電所の事象の終息に向けての最大限の支援と、情報収集に努め、適切な対応を図ってまいります。





（担当／大塚高）